



平成21年 5月18日

第 39 号

埼玉県立春日部高等学校同窓会
〈発行〉荒木 貞行
〈編集〉中村 行生
戸井田 哲

〒344-0061
埼玉県春日部市柏壁5539
TEL 048-760-1627
FAX 048-760-1628
〈印刷〉望月印刷(株)
さいたま市中央区阿弥5-8-36

〈同窓会ホームページ〉
www.os.rim.or.jp/kasukoga

〈メールアドレス〉
kasukoga@os.rim.or.jp

環境シンポジウムを開催

創立110周年記念



創立100周年記念の第1回環境シンポジウム (ISO問題)
(春日部市民文化会館小ホール、平成11年8月)

今年10月25日(日)に 名簿発刊と祝賀会も

本校は今年創立百10周年を迎えた。同窓会では記念事業として、同窓会名簿の発刊のほか10月25日に環境シンポジウムと祝賀会を開くことにし、今その準備に追われている。

今回の環境シンポジウムは、百周年記念事業(ISO関連)に次いで2回目の開催になる。
《日時》平成21年10月25日(日)
13時30分～16時30分



創立100周年発行の『同窓会名簿』
B5版、約950ページ

《会場》本校音楽ホール
《テーマ》「みんなが考える地球環境―地域社会と市民が行う温暖化対策―」
《基調講演》市民は温暖化防止のために何をすべきか
講師/日向英実さん(NHK理事、同放送総局長、高20回) **《パネリスト》**▽日向英実さん▽倉上皖教さん(北川辺町長、高14回)▽平井信行さん(市民代表、気象予報士、埼玉県教育委員)▽鳥居貴代美

【平成20年度同窓会会計決算報告(案)】

期間：平成20年4月1日～同21年3月31日
歳入総額 11,053,923円 (前年比 233,514円)
歳出総額 9,205,161円 (同 △658,457円)
差引残高 1,848,762円 (同 891,971円) 次年度繰越金
積立金 5,800,000円 (累計、一種の財政調整基金)

《歳入の部》

項目	予算額	決算額	摘要
会費	4,130,000	4,388,500	新会員356名 一般会員 77名 年会費 58名
入会金	766,000	760,000	全日制356名 定時制 24名 1口10,000円
賛助金	1,500,000	1,955,000	同例会、オペラ公演、他
寄付金	100,000	406,084	春高タオル、他 (在庫高873,380円を含む)
グッズ売上金	1,600,000	2,299,580	コピー代、宛名シール代、他
雑収入	50,000	54,368	前年度からの繰り越し金
繰越金	190,391	190,391	積立金からの繰り入れ
繰入金	1,000,000	1,000,000	
合計	9,336,391	11,053,923	

《歳出の部》

項目	予算額	決算額	摘要
事務費	2,390,000	2,364,939	通信費、事務局費、電話代等
会議費	200,000	107,416	役員会、諸会議、等
事業費	5,250,000	5,338,241	総会費・HCD費 949,409 卒業証書入れ、他 273,040 支部(春高会)費 355,000 新聞発行費 3,152,452 展示室整備費 0 在校生助成金 608,340
慶弔費	140,000	115,580	弔電費、教職員饗別等
グッズ製作費	1,000,000	1,050,798	春高タオル、春高バッグ、他
雑費	200,000	186,774	振替手数料等、雑費
予備費	156,391	41,413	110周年記念事業等
合計	9,336,391	9,205,161	

▼今後、会計監査をへて、役員会と総会で審議していただく
▼HCD=総会時のホーム・カミング・デー(母校へ帰る日)事業

総会は6月28日(日)

イワシ博士・平本さんが講演



講師の平本紀久雄さん

今年の同窓会総会は、下記のように恒例の6月第4日曜・6月28日に開かれる。

《日時》平成21年6月28日(日)
14時～18時
《会場》本校音楽ホール、他
《総会》14時～昨年度事業・決算報告、今年度事業案・予算案審議、創立百10周年記念事業など審議
《講演》15時30分
演題「いわし漁の歩みと食文化」

イワシはどのように利用されてきたか―講師/平本紀久雄(高10回)さん
《懇親会》16時30分
会費自己負担3千円(招待者を除く)(当日受付で頂戴)
《出席申込》出席者名簿や名札の準備があるので、本紙同封の返信用はがきで早めにご

連絡をお願いします。
《ホーム・カミング・デー》総会には「第20回ホーム・カミング・デー(母校に帰る日)」として、次の卒業学年が招待される。卒業後50年の高12回と定時制12回、岩槻分校普通科8回、同別科6回、それに今年50歳の高30回と定時制30回、さらに今年40歳の高40回と定時制40回の皆さん。また平成20年度の賛助金納入の百78人も招待される。以上の方にはささやかな記念品を差し上げ懇親会にご招待する。

《講師紹介》昭和15年生まれ。海と北の大地に憧れて北海道大学水産学部に進む。魚の研究者をめざして千葉県庁に入り、同県水産試験場でイワシ・アジ・サバなど一貫して沿岸資源調査に従事する。「マイワシの生活様式の研究」で北大から博士号(水産学)を取得。著書は、『私はイワシの予報官』(草思社)『イワシの自然誌』(中公新書)『イワシの話』(らくだ社)『房州に捧げられた人 コルバン夫人(英国宣教師)』(甞書房出版)

など多数。退職後、「千葉の海と漁業を考える会」を立ちあげて、沿岸漁業支援や海岸侵食対策に力を注いでいる。千葉県館山市に在住。

後藤画伯が 絵画を寄贈

創立百10周年記念で

創立百10周年を記念して、このほど後藤純男画伯(中45回、千葉県流山市)から、絵画「斑鳩三塔」(リトグラフ

環境シンポジウムの終了後、次のように同窓会主催の**創立百10周年祝賀会**が開かれる。「ぜひ多くの同窓各位と一緒にお祝いしたい」と荒木貞行同窓会長は望んでいる。
《日時》10月25日(日)
17時15分～18時45分
《会場》アクシス春日部(春日部商工振興センター)春日部駅東口徒歩5分
《会費》5千円(立食形式)
《参加申込》本紙に同封のがきで、同窓会事務局までまた名簿整理事業について

は、いま氏名や住所などデータの最後の確認作業を行っているが、予定通り今年10月中旬に発刊されて、申し込まれた会員の自宅に郵送されることになる。「まだ名簿や広告掲載を申し込まれていない人は、ぜひ同窓会事務局までご連絡ください」と、戸井田哲事務局長は語っている。なお10月24日の学校主催の記念行事で、作家の北村薫さん(本名・宮本和男、高20回元本校国語科教師)が講演を行うことになっている。

10号)が本校同窓会に寄贈された。奈良の斑鳩の丘から法隆寺、法輪寺、法起寺の3塔を描いた芸術性の高い作品である。早速、本校展示ギャラリーに展示された。なお後藤純男展が、5月26日から6月1日までさこう神戸店が開かれる。その後、広島市や鳥根県松江市でも開催される予定。
後藤画伯は、いま北海道豊富野町の後藤純男美術館の2階にあるアトリエで、大作を制作中である。

▼今年2月大阪府内のある名簿業者から「同窓会名鑑を作る」として、春高卒業生を対象に、個人情報の記入や名鑑の購入申し込みを依頼する往復はがきが送られてきた。この業者は、春高や同窓会とはまったく関係のない団体。誤って購入申し込みをした場合は、急いで取り消すか、現品を着払いで返送することをお勧めします。

新校長に松田先生

職員 事 業 人



松田敏男校長先生

▼転退職の教職員(敬称略)

《全 日制》

松村秀(校長) 定年退職

鶴巻一郎(教頭) 川口高へ

矢城勇(社会) 定年退職

高松正勝(理科) 定年退職

杉本圭太(国語) 大宮高へ

鈴木久夫(社会) 上尾鷹台高へ

江森弘明(数学) 蓮田高へ

金子豊(数学) 宮代高へ

猪股賢治(書道) 岩槻北陵高へ

小野晃裕(音楽芸術総合高) 齋藤須美江(英語) 岩槻高へ

綿貫伸也(理科) 羽生実高へ

戸井田俊平(英語・高53回) 春日部女高へ

渡辺正信(実習助手) 羽生高へ

松田秀一(事務主任) 大宮工へ

戸田仁子(司書) 大宮南高へ

岡本千里(事務) 北川辺高へ

《定 時 制》

木村実(教頭) 越谷総合技高へ

中嶋芳江(国語) 岩槻北陵高へ

曾根崎猛史(理科) 幸手高へ

井盛雅(体育) 伊奈中学へ

大島健一(数学) 大宮南高へ

後藤健史(社会) 越ヶ谷高へ

龍野雅美(養護) 大宮南高へ

矢作圭祐(事務主事) 教育局へ

相良屋良雄(業務) 定年退職

《全 日制》

松田敏男(校長) 県立総合教育センター

副所長から

武正章(教頭) 誠和福祉高から

秋庭佳大(書道) 栗橋高から

前田正美(社会) 高32回

越谷西高から

黒澤和也(理科) 大宮西高から

勝岡健(社会) 白岡高から

光成一(数学) 高47回

八潮南高から

長沢博貴(理科) 杉戸農高から

関一樹(国語) 八潮高から

熊中陽子(数学) 大宮高から

岸礼子(国語) 不動岡高から

山下暁子(英語) 市立浦和中学から

佐々木若菜(音楽) 福岡高から

宗寛博(英語) 久喜高から

折原文明(英語) 岩槻高から

長谷川敬一(実習) 栗橋高から

豊若知美(事務) 越谷養護から

原則子(司書) 松山高から

鈴木しずか(事務) 春女高から

《定 時 制》

林昭雄(教頭) 羽生高学園から

横尾和則(理科) 春日部東から

高橋啓(社会) 入間向陽高から

松永貴則(国語) 川口工高から

滑川良太(数学) 桶川西高から

池田大輔(保体) 八潮高から

長尾由里(養護) 川島養護から

川内優輝(事務主事) 新採用

武藤正和(業務) 大宮商高から

東大に9名合格

難関国公立も健闘

大学入試

今春の大学入試は、東大に9名ぶりに9名が合格するなどの成果をあげるとともに、東大を含めた旧帝大と一橋、東工の難関国立大に目標を超

す合格者を出すことができた。進路指導部の宮内讓志先生は「医学部も含めた難関国公立大での健闘はすばらしいものだったが、私大の明治と東京

《鳩ヶ谷》 高倉祐二

《栗橋》 太田純一

《越谷》 櫻井幸男、草野司、高橋勝美、中村孝夫、平林清一、松本岩男

《幸手》 川村康雄、中江卓二

《白岡》 葛沢錦一、横川修治

《草加》 岡本光朝、須佐昭彦、田村安雄、山本洋嗣

《蓮田》 安藤正之、岡田貞男、野口幸三郎、正木英雄

各地で春高会

- ▼八潮春高会総会 24人
- ▼幸手春高会総会 23人
- ▼上尾伊奈支部総会 30人
- ▼三遊亭楽生の落語会
- ▼大宮支部総会 45人
- ▼春日部支部総会 15人
- ▼宮代春高会総会 51人
- ▼吉川支部総会 20人
- ▼岩槻支部総会 60人
- ▼蓮田春高会総会 41人
- ▼大木正則(高14回)さん講話
- ▼鷲宮春高会総会 20人
- ▼白岡支部総会 35人
- ▼県庁春高会総会 40人
- ▼運動部合同OB会 60人
- ▼春日部春高会総会 40人
- ▼野田支部総会 35人
- ▼戸部支部(高17回)、戸部一夫(同)、鈴見智二(高24回)、田中憲明(高39回)さんの問題提起
- ▼葛蒲春高会総会 20人
- ▼北海道春高会総会 10人
- ▼三遊亭楽生の落語会
- ▼21年2月22日 石塚家
- ▼戸井田哲(高17回)さん講話
- ▼杉戸春高会新年会 16人
- ▼黒田照子さんの講話
- ▼東京春高会総会 40人
- ▼庄和春高会総会 25人
- ▼大久保(高11回)さん講話
- ▼横浜春高会総会 20人
- ▼関西春高会総会 20人
- ▼20年11月29日 シイフアー
- ▼幸手春高会忘年会 26人
- ▼越谷支部総会 135人
- ▼21年2月11日 コミセン
- ▼春日部春高会懇親会 45人
- ▼21年2月21日 やまや新館
- ▼野球場熊谷公孝監督の講話
- ▼松伏春高会総会 15人
- ▼21年2月28日 白龍
- ▼草加春高会総会 35人
- ▼三郷春高会総会 23人
- ▼21年4月26日 やつちやば
- ▼高3同期会 69人
- ▼高10同期会 64人
- ▼中45同期会 26人
- ▼高36同期会 70人
- ▼20年11月16日 ブッロサム
- ▼科63(43)▽中央53(32)▽日本43(13)
- ▼法政41(28)▽芝浦工業38(15)
- ▼慶応36(20)▽上智26(10)▽東洋18
- ▼8)▽学習院18(3)▽東京農業14
- ▼7)▽青山学院12(4)▽駒沢11(3)
- ▼立命館10(6)▽北里9(8)▽明治薬科9(8)▽文教8(6)▽成城8(3)▽獨協7(6)▽成蹊7(2)▽専修5(1)▽明治学院5(2)▽杏林4(4)▽城西4(3)▽星薬科3
- ▼(2)▽武蔵工業3(2)▽その他19
- ▼(4)▽合計740(384)

同窓会費(旧終身会費)納入の方々

- ▼同窓会費(旧終身会費) 1万円納入者 (敬称略)
- 《20年4月1日〜21年3月31日》
- 《上尾》 堀井剛
- 《岩槻》 金子武夫
- 《浦和》 井坂威人、佐藤純孝、杉山幹夫
- 《大宮》 石黒真之、柿沼一成、川辺了、小島崇、佐野昌広、竹内慶太、西村和雄、笛木大二郎、渡辺正一
- 《春日部》 荒井正美、加藤多喜子、竹村義人、時田恒雄、土門玄、初見和男
- 《川口》 網野正広
- 《久喜》 新井嘉明、岡安隆、岡安孝、小林正
- 《栗橋》 太田純一
- 《越谷》 櫻井幸男、草野司、高橋勝美、中村孝夫、平林清一、松本岩男
- 《幸手》 川村康雄、中江卓二
- 《白岡》 葛沢錦一、横川修治
- 《草加》 岡本光朝、須佐昭彦、田村安雄、山本洋嗣
- 《蓮田》 安藤正之、岡田貞男、野口幸三郎、正木英雄

6月6日(土)に

大宮支部の総会

- ▼日時 6月6日(土)18時
- ▼会場 さいたま市清水園
- ▼会費 1万円
- ▼落語 三遊亭楽生(真打ち)
- ▼申込 高橋正次支部長宅
- ☎663-0306

▼春高同窓会から名簿についてお願いする場合は、必ず荒木貞行同窓会長名で発送し、返信は大阪府ではなく、春日部市の春日部高校同窓会宛になっています。「同窓会名簿」は、いま最後の編集作業を進めており、予定通り、今年10月中旬に発行されて、申し込まれた人の自宅に郵送されることになっています。ご安心ください。

春高人物風土記 (26)

高15

高15回 (昭和38) (年卒業)

この学年も教育界が多い。さいたま市の秋元伸晃さん、飯島正行さん、山岸利男さん、越谷市の石田一男さん、齋藤勝人さん、熊谷市の乾寿夫さん、東京都の内田雅顯さん、福岡県の宇田川宣人さん、斉藤英雄さん、幸手市の小河原正隆さん、梅林寺敦さん、春日部市の梶博信さん、川端武久さん、出戸義和さん、中田宗紀さん、神奈川県篠崎隆勇さん、桶川市の加藤芳夫さん、北本市の清水秀夫さん、鷲宮町の坪井伸夫さん、久喜市の野原耕作さんなど。

さいたま市岩槻区の浅草和敏さんは、バレー部の主将として活躍。現在はバレー部OB会会長を務める。三菱金属(現三菱マテリアル)中央研究所に就職。化合物半導体の研究開発で結晶育成のスペシャリストとして、国内初の工業的手法を確立して産業の繁栄に先鞭をつけた。後年、本公開発本部へ移り全社的開発業務に回っても、拘り抜いた会社と一貫した研究開発職を全うして満足の退職をしたという。現在は在職中も続けているバレーボール日本実業団連盟理事長、(財)日本VB協会執行役員を主軸に、関東実業団、埼玉県内の役員として、バレーボールの普及と発展に心血を注いでいる。

波洋さんは、新潟大学医学部を卒業し、東京女子医科大学付属第二病院に4年間勤めた後、石川県に新設された金沢医科大学に講師、助教授として15年勤務。20年前元日本医師会長の坪井栄孝先生に乞われて、福島県郡山市のがん専門の(財)慈山会医学研究所付属坪井病院に赴任する。実直で温厚な人柄と併せて胸部外科の信頼性の高い医師として、5年前に院長職に就く。福島県郡山市に在住。

施設の充実、国内外での競争力ある高度教育研究体制の強化・推進などに腐心したという。専門の絵画では、アジア美術家連盟の日本委員会代表を務め、アジア各国で23回国際展を開いている。作風は心象風景。作品は福岡県立美術館をはじめ国内外10数箇所に収蔵されている。本校百周年記念美術展の出品作品「南の島1」が本校の展示ギャラリーに展示中。福岡市に在住。

題となった。東京学芸大学を卒業後、都内の公立小学校教諭、筑波大学附属小学校の教諭を経て、東京家政大学児童学科・同大学院児童学専攻教授となる。専門は児童学。かつてわらわら日本語教育学会常任理事、言語力育成のための北区会議副座長も務める。この間、文部省平成元年版国語科学習指導要領作成協力者委員などをも歴任。『国語科授業に使える面白クイズ』や『金子みすゞの詩の授業化』など国語教育に関する著書も多い。東京都北区在住。

さいたま市岩槻区の大山治之さんは、33年前にヘルメットや保安用品を製造販売する(有)和興産業を設立。岩槻市青年会議所の創立に加わる一方、ライオンズクラブに所属。岩槻市民協議会青少年育成会議などを通じて若いころから地域のボランティア活動に勤しんでいる。同窓会の本部役員と岩槻支部役員として活躍中。

白岡町の鬼久保勝臣さんは、春高のころは相撲部マネージャーとして関東大会や全国選抜十和田大会などの裏方役を務める。明治大学商学部を卒業し、埼玉縣信用金庫に入る。昭和58年大東支店長に就任した後、八潮、行田、春日部、浦和など主要支店の支店長を歴任。平成12年に理事になり理事浦和支店長で退職。「生涯一得意先係」をモットーに、「悔いのない、信用金庫生活でした」と振り返る。現在は父親の跡を継いで恵利商事(有)の社長を務めるからなら、白岡町の代表監査委員を務める。また白岡ライオンズクラブを通して奉仕活動にも尽力する。

桶川市の加藤芳夫さんは、在学中はソフトテニス選手としてインターハイ出場を果たす。パートナーの坪井伸夫さん(高校数学教員)とは、埼玉大学卒業後もペアを組み、全国インドア大会で優勝。保健体育の教員となり、岩槻商業高校や松山高校でのテニスの指導が実り全国3位の成績をあげる。市立浦和高校や上尾高校の校長を歴任。スキーの正指導員の資格を持ち講習会で多くの教員を指導したことも。現在テニスを再開してちびっ子たちと楽しんでいる。

さいたま市大宮区出身の梶博信さんは、陸上の短距離選手として3年連続でインターハイに出場。埼玉大学では陸上部の主将として、関東インターカレッジ2部校で総合優勝を果たす。保健体育教員として母校春高に勤務する。昭和42年の埼玉国体の走幅跳び

宇田川さんは九州産業大学学長

二宮 一二宮 さん

『春高百年史』の編集に尽力

さいたま市岩槻区出身の宇田川宣人さんは、東京芸術大学美術学部の絵画科油画専攻卒業(小磯良平教室)、同大学院を修了。昭和46年九州産業大学に赴任。同44年から東京をはじめニューヨークやシドニー等で個展を20数回開く。平成3年に同大芸術学部の教授に就任。芸術学部長を経て、平成13年に同大の学長に選出されて3年間務める。「大学サイバールの対応で、学長としてやり甲斐のある苦勞をしました」という。学生1万5千人の7学部7大学院研究科への組織体制の最終整備や語学教育センター設置等の教育

さんは、在学中応援指導部員として活躍。そのころ始めた「臙脂(エンジ)の集い」は、今では春高祭の名物イベントとして生徒ばかりか卒業生や近隣の人たちにも人気を博している。その後、家業の料亭「一の家」(高鼻町)を継ぎ、手腕を発揮して市内の名店として信用を得ている。昨年10月に高円宮妃殿下が同市を訪問された折に相川市長との昼食会の会場として利用された。

さいたま市北区出身の大越和孝さんは、在校当時は応援指導部の副団長。美声の持ち主で、NHKの「あなたが選ぶのど自慢」で金賞を得て話

意気だと先輩にぶん殴られたエピソードをもつ。日本大学理工学部に進学、卒業後も2年間、助手として大学に残る。社会人となって素封家である自宅の管理をしながら、昭和46年宅建免許を取得して不動産業を開業。粕中2回卒の第2代同窓会長で県議会議長を務めた大野伊右衛門さんの孫。そんな地縁、血縁もあって、昭和62年越谷市議選に見事初当選。以来、平成15年まで市議を4期、同13年に議長も務めた。引退後、再び不動産業に専念。またお子さんが若く、父親業では「言うことを聞かぬ」と嘆く。

取得。工場に帰任後、生産課長としてライン管理に注力する。かたわら、エジプトに何度となく渡り、同国のアルミ精錬工場にコンピュータ制御技術輸出することに成功。その後秩父工場の開発部長や本社での新事業開発部長(理事)などを歴任。平成13年から日本有数の学会・社団法人日本化学会の常務理事として会の運営にあたる。平成22年の国際化学オリンピックの日本誘致に成功。また組織をあげて青少年の理科離れの防止、博士課程の学生の支援、アジア諸国との研究交流の推進等に

取り組んでいる。千葉市在住。

▼転居などで住所が変更になったときは、電話番号も含めて事務局までご連絡ください。また知人や同期生が逝去されたときも、ご連絡ください。通夜や告別式に間に合えば、弔電を送らせていただきます。

さいたま市大宮区出身の川端武久さんは在学中は柔道部インターハイで強豪・天理高校から唯一勝利するなどの活躍をした。埼玉大学を卒業後、保健体育の教員として八潮高校で柔道部を地区優勝させたが、柔道部のない高校に勤務することが多かった。県教育局スポーツ企画室に勤務の時にサッカーのワールドカップを担当。松伏高校や草加高校の校長を歴任。現在は宇都宮大学が母体のきのこ同好会に所属し、春は山菜、秋はきのこ採りで野山を歩きまわり、晴耕雨読の健康的な生活を送っている。さ市岩槻区在住。

越谷市の斎藤勝人さんは、東京教育大学(現筑波大学)を卒業後、東京都の私立高校に赴任。ベルリン自由大学に留学した後、川越南高校の理科教諭として再スタートを切る。その後県立教育センターや教育局指導二課、総務課等で行政手腕を発揮。川口青陵高校長、浦和市立高校長を歴任した後、学校管理幹として県立高校のまとめ役を担当。最後は熊谷高校長として県高校長協会の会長を務めた。現在は実家の農業をやりながら健康的な日々を送っている。

茨城県古河市出身の齊藤英雄さんは、早稲田大学第一文学部日本文学専修を卒業。岩槻商業高校や春日部高校定時制、越谷西高校、越谷高校定時に勤務した後、平成元年、九州大谷短期大学に移り、現在は同大学国文科教授。夏目漱石を中心に日本近代文学の研究に勤しむ。著書に『夏目

漱石の小説と俳句』(翰林書房)、『山頭火・虚子・文人俳句』(おうふう)、『齊藤火出男句文集』、『続・齊藤火出男句文集』などがある。福岡県筑後市に在住。

栗橋町の柴崎武さんは、演劇部の出身。廃部の危機を訴える先輩の一言に義侠心にかられ入部。ところが3年生が卒業したら部員はたったの2名。自ら回避策を講じる羽目になる。そこで同期の応援指導部の幹部に相談し、人材派遣を頼む。急遽演劇部員となつてもらい、急場を凌ぐ。東洋大学工学部を卒業後、東京タワーを建設した宮地建設に入社。18年間、営業から調査工務、新幹線工事の現場監督などを体験。昭和62年独立して柴崎建設工業を設立。関東一円の橋梁工事を請負ってきたが、平成不況の大波に晒され公共工事が減少、ここを潮時と平成17年断腸の思いで会社を閉鎖。「いま顧みて、人生の節目で春高人脈をはじめ多くの人の縁に支えられて、感謝に堪えない」という。

さいたま市大宮区の清水猛さんは、在校中柔道部のエースとして活躍、3年時のインターハイの重量級でつり込み腰の得意技を駆使し個人5位に入賞。また2年続いて国体にも出場。早稲田大学でも柔道部。卒業後フランスに渡り、金メダル保持者のヘーシングを育てたフランス柔道有段者協会最高技術顧問の道上伯さんに学びながら、フランス全土で指導を行う。その縁で道上さんの令嬢志摩子さんと結婚する。結婚式場・清水園の跡継ぎをして、現在会長を務める。さいたま市観光コンベンションビューローの副会長として、さいたま市長を助けて同市にはなくてはならない経済人として活躍している。

越谷市の田村昂さんは、高校に入ってから陸上競技を始めたが、万能ぶりを発揮。特に棒高跳びでは、インターハイで試技中にボックスに落下して足を負傷しながら6位に入賞し、岡山国体では見事に優勝する。当時はジュラミンのポールで着地は砂場。4歳の高さから落下すると衝撃が強く、息が止まることもあるという。中央大学では関東インターカレッジで活躍。電々公社(現NIT)には陸上部がなかったことが惜しまれる。

蓮田市出身の塚本正さんは、春高時代、綾瀬川源流近くの自宅から片道およそ1時間、自転車通学したという敢闘賞ものの経験をもつ。東京理科大学を卒業後、食品メーカーに入社、新製品開発に携わるも組織に向かないことを認識。単独でできる特許分野の翻訳業に着目。英語力が必要と判断するや単身渡米、ミズリー大学セラミック工学科に入学。卒業後、カナダの法律特許事務所で4年間実務を学んだ。帰国後の昭和56年、特許分野の翻訳業務を開業。同62年(株)テクノパテントサービス設立。以来定年のない現役を続行中。篤実で丁寧な仕事ぶりはクライアントの信頼も厚い。いま横浜春高会の裏方(事務局)としても貢献大、不可欠

の存在である。横浜市在住。

さいたま市中央区出身の戸義和さんは、屋上で弁論部の練習をしながら陸上部の走る姿に刺激されて同部に入る。長距離班長として県高校駅伝3位入賞の立役者。埼玉大学を卒業後、中学の保健体育の教員となり、多方面で成果をあげた。鷲宮町保健体育課長や社会教育主事から春日部中学校の教頭を経て、三郷吹上小学校や三郷南中学校、八潮八幡中学校の校長として実績をあげ、最後に学校統合で閉校になった春日部谷中小学校で手腕を発揮。春日部市在住。

幸手市の中村武(故人)さんは、春高スポーツ全盛期の体操部のエースとして活躍。つり輪では国体で2位入賞。県体で体操競技が彼を中心に高得点を獲得、総合三連覇の立役者となった。埼玉大学を卒業後、体育教師となつて結婚、幸せな生活から一転、事件に遭遇し、早世したのは悔やまれる。小柄ながら筋骨隆々、校内相撲大会でも大きな相手を吊り上げて優勝。愛くるしい笑顔の春高健児であった。

さいたま市北区の二宮靖男さんは、在校時代は応援指導部団長として活躍。現在も継続されている春高祭の名物「臍脂(エンジ)の集い」の発案者。ひよんな思いつきから始めた臍脂の集いが半世紀近くも後輩たちが受け継いでいる事実には驚くという。早稲田大学を卒業後、出版社「ぎょうせい」に入社。全国の自治体史、伊豆諸島の町村史など多くを手がける。『春日部

高校百年史』では、編集委員として第7章「春高スポーツ黄金時代」を担当。定年退職後は、『御蔵島島史』などの編纂・執筆の仕事に携わった。今は一転、ナチュラリスト。山野では森林インストラクターとして自然を満喫。また、都心では庭園ガイドとして、江戸の語り部役を演じている。

さいたま市岩槻区の西田憲司(故人)さんは、立教大学で写真部の主将として活躍。社会学部出の異色のカメラマンとして三友エイジェンスに就職。東京・六本木のスタジオユニに移り、著名なコピーライターやデザイナーとの交流から自らの才能を伸ばし、昭和47年少年時代からの夢を叶えて、渋谷区に事務所California forniaを開いて独立。本校創立百周年記念のときは、『春日部高校百年史』をはじめ同窓会の記念イベントの写真撮影を長い間献身的に担当して、素晴らしい作品を残してくれた。妥協を許さぬ頑固な人生哲学と他人を気遣うナイーブな面を併せ持つ西田さんの早世を惜しむ声が大きい。享年63歳。

草加市の松本厚さんは、明治大学商学部を卒業。イマイ自動車工業(株)の代表取締役。剣道教士7段、居合道練士6段、杖道2段の腕前を持ち、時々防具を担いで母校の稽古会に訪れることも。草加市剣道連盟の会長を務める一方、(財)草加市体育協会会長や同市スポーツ振興審議員を歴任。また、草加ロータリークラブの会長も務める。草加春高会

の副会長、同窓会本部の役員。幸手市の峯宏さんは、日本大学理工学部を卒業し、(株)ブリヂストンに入社。国内外の同社の工場建設に従事する。生産システム企画課長としてアメリカをはじめインドネシアやタイ、トルコ、中国などの各地で同社工場の新規建設に奮戦する。企画からタイヤ作りの設備の設計、設置まで多いときには百人を超過すチームで1年近く現地で過ごすことも。タイヤは、より軽く、少ない抵抗で、静かにというエコ化を追求しているという。現在も生産技術管理部主任部長として、昨年は8回も海外出張し多忙な日を送る。同窓会の本部役員、幸手春高会の役員を務める。

幸手市出身の山本哲史さんは、早稲田大学政経学部を卒業して外務省に入省。海外勤務と東京勤務を交互に繰り返す。中南米諸国やアメリカ、カナダ、ニュージーランド、の大使館と総領事館に勤務する。特に標高4千近いボリビアでは、高山病など健康面での苦労もあったという。海外から最近の日本の政治を見ると、「リーダーが不在という印象を受けますね。制度の違いはありますが、他国はリーダーがしっかりと政治をしていますね」と言う。在パラグアイ日本大使館の参事官を最後に昨年退官。現在は週2回ほど外務省に勤務。東京都豊島区在住。

春日部市の吉川一郎さんは、生まれも育ちも春日部。学びの庭も、粕壁小、春日部中、

春高と一貫教育のようなもの。自ら代表取締役を務める会社も、春日部駅近くの南に所在。まさに春日部一色。昭和42年、日本大学理工学部を卒業後、父親の経営する金杉建設(株)に入社。37歳で社長に就任。以来、橋梁工事などの土建業一筋。この不況下、社員50名を抱える社長として今も奮闘中。平成5年、東部地区の同期生の親睦会一五会を、同じく春日部育ちで同業大手の大都工業(株)に勤めていた関根健二さんと発足する。今もゴルフコンペや同級生との交流の中心的役割を担っている。

吉川市出身の吉澤浩司さんは、在学中、剣道部に所属。合宿所の思い出が懐かしいという。金沢大学医学部を卒業後、同大学院医学部研究科を修了。東京都臨床医学総合研究所の肝炎研究室長、浜松医科大学助教授を歴任。平成2年、広島大学医学部教授に就任。同21年に退官し名誉教授に。この間、延べ14年間、厚生省ウイルス肝炎の疫学研究班の班長も務める。『肝がん白書』の疫学部分の執筆も担当。まさに肝炎ウイルス研究一筋の輝かしい医学者人生を歩いてきた。定年後は人間ドックの医者をしていて、かっつの激務から解き放され、最近ようやく自分の時間を取り戻せたという。広島市在住。

この企画記事は該当学年の有志が協議して掲載する人を決めて、取材し、編集人と一緒に記事にしたもの。(文責：中村行生)

賛助金納入の方々(20年度)

20年4月1日～21年3月31日

(敬称略)

- 中野俊夫、関根将雄(再納金)、森田博(再納金)、後上正之、鈴木努、佐々木寿、井出幸一、金子徳次、関根仁、松原敬之助、木村恵俊、鈴木忠男、中島三喜男、美田武芳、与川昭(再納金)、鈴木莊司、竹内五男、長島恒雄、石川統造、今関晴之、小澤正直(再納金)、時田恒雄、峯崎敏尚、椎名成雄、安井利雄、山口繁、井上(小久保)亜也、金子義彦、山村孝太郎(再納金)、吉野邦、荒木貞行(再納金)、井上義朗、大熊秀治(再納金)、國井嘉朗、櫻井幸男、島村貞雄、益山貴司(再納金)、松永清、谷田貝満義、横川忠雄、岩崎長一郎、江森米蔵(再納金)、高橋栄、中村一春、船川茂、森田英郎、島村慎市郎(再納金)、関和夫、豊田紀、中村孝太郎、三浦真之丞、小林正弘、長島秀行、野口幸三郎、大上史郎(再納金)、栗田晃一、須見信昭、野村義雄、増田武夫(再納金)、勝山要、小川秀雄、正木英雄、浅子靖邦、勝田仁、川上博、小沼力也、斎藤努、田副武征、新井啓友、飯塚勝、大塚秀吉、小野辰雄、河津穎修、金子武夫、林友三、森谷貞夫、吉田武峰、木村宏一、田中靖男(再納金)、浜田政男、磯崎充広、色井宏司、栗原英博、塚田勝由、本橋吾朗、真々田富男(再納金)、松本岩男、池田靖二、大高九十二(再納金)、小川文雄、門平公夫、中島信男、長浜靖、浅草和敏、太田暉人、落合勝男、糟谷豊、斎藤敏光、安孫子稔、大久保正小泉俊一、堀部和政、松永喜芳、神田俊雄、近藤輝次、島村道雄、宮原多喜男、山崎一、井山一男、尾堤信男、高野敏夫(再納金)、奥原秀敏、丹野泰久、榎本次男、岸和義、白石信夫、木村孔三、窪明弘、新井和彦(再納金)、野村秀雄、松永健、宇田川理、黒須保高、竹内義人、岡田正、捧雄一郎、藤井隆介、渡辺正直、朝比奈広志、菊池恭山口孝一、太田純一、大淵俊明、金野光男、松田智、山口英俊、緒方逸平、増田行雄、柳沼康之、初見和男、松本昌也、佐野昌広、高根淳、土屋信彦、中原淳一、関口厚志、奈良暢泰、服部正一、長篤、杉本秀幸、中村真純、新井和彦(再納金)、岡孝、野村秀雄、松永健、宇田川理、黒須保高、竹内義人、岡田正、捧雄一郎、藤井隆介、渡辺正直、朝比奈広志、菊池恭山口孝一、太田純一、大淵俊明、金野光男、松田智、山口英俊、緒方逸平、増田行雄、柳沼康之、初見和男、松本昌也、佐野昌広、高根淳、土屋信彦、中原淳一、関口厚志、奈良暢泰、服部正一、長篤、杉本秀幸、中村真純

【賛助金納入者学年別一覧】

平成14年5月20日～同21年3月31日 総額 1,837名 19,640,014円 (対象人数の11.7%)

Table with columns for year (14年度 to 20年度), number of students, and total amount.

Table with columns for event number (中25回 to 高20回), number of participants, and total amount.

*中46回は中45回に繰入 中48回は高2回に繰入 高1回は中47回に繰入

振込用紙の同封に なにとぞご理解を

従来は賛助金の未納の方だけに振り込み用紙が同封されていましたが、今年から毎年すべての皆様に用紙をお送りいたします。「賛助金の再納金をしたので、用紙を同封してほしい」との要望が役員会や総会でありましたので、そのように決まりました。ぜひこの事情をご理解いただき、賛助金へのご協力をお願い申し上げます(事務局)。

陶(32回)さん杉山(21回)さんが優勝

同窓会ゴルフコンペ

第60回同窓会ゴルフコンペ (20年10月23日千葉CCC川間) 優勝||陶(新井)章司(32回) 2位||鳥先良衛(8回) 3位||佐藤哲郎(13回) 4位||成田正樹(29回) 5位||金子亮(7回) 6位||長谷川仁(30回) 7位||牛山信康(21回) 8位||関一美(11回) 9位||会田貢平(11回) 10位||柴崎道雄(17回) シニアの部(7回以上) 優勝||金子亮(7回) 2位||大谷滋雄(6回) 3位||北島豊(4回) 参加||百8人

春高が団体優勝

4校OB親睦ゴルフで

第8回4校OB親睦ゴルフ(20年6月5日紫CCすみれ) 団体優勝||春日部(4年ぶり2回目) 2位||熊谷 同3位||川越 同4位||浦和(グロス上位10人による対抗戦) B G ||長谷川仁(春高30回) 74 参加||百40人。チャリティ募金10万4千6百8円は「あしなが育英会」に寄贈された。なお今回は6月18日(木)に鴻巣CCCで行われる。

6校の剣士たちが集う

6校剣道部OBの合同稽古会が、今年2月末、春高で開かれた。参加したのは、浦和熊谷、川越、春日部、不動岡松山の6校約百人。白髪の間接する老剣士たちが、よい汗をかいて稽古に励んでいた。

百周年のメニュー

美術部員とスタッフ

創立百周年のメニューメントの制作意図を今の生徒たちに

高36回同期会が寄付金

高36回の同期会が、昨年11月東京銀座のプロッサムに約80人が集まって開かれた。久しぶりの同期会だけに大盛況。

知ってもらおうと、昨年9月制作者の橋本真之さん(高18回)が来校。中庭の「千年の感心」という長さ約5.5mの立体造形の前で、美術部員たちが橋本さんから「周囲の植栽と一体となり、時を重ねて成長する空間を想像してほしい」と説明を受けた。その後県立近代美術館のスタッフらの協力で、作品の内部に入ったごみを取り除き、仕上げにツバキ油を塗って磨いた。美術部員たちはこの仕事を創立百周年「ようこそ先輩-talk & washプロジェクト」と名付けている。他の2作品は10月10日に実施する予定。

会員の寄贈著書(20年度)

- 高1回・村山吉廣『叢書・日本の思想家31-佐藤一斎・安積良斎(共著、明徳出版社)』 高2回・岩井道也『桜下の美少女』(東プランニングルーム) 高6回・関口安義『港の人 児童文化研究叢書/賢治童話を読む』(港の人) 高8回・中村雅昭『中村素岳書展-古稀をむかえて』(墨光会) 高10回・平本紀久雄『房州に捧げられた人-コルバン夫人』(斎書房出版) 高29回・坂口明義『貨幣経済学の基礎』(ナカニシヤ出版) 高34回・石崎幸二『復讐者の棺』(講談社)

資料提供者(20年度)

- 中34回・片野亮一『粕壁中学校一覽(昭和6年)』、『折原要先生の閻魔帳』(同7年)、『同盟休校の声明書』(同9年)、『同盟休校についての在校生一同から父兄各位にあてた文書』(同)、『学校から全父兄にあてた文書』(同) 中36回・熊倉弥市(故人)夫人『旧木造校舎絵がき』 文芸誌『埼東文學』(埼東文化会・草加市樋口素秋)

訃報

同窓会副会長の細田英明さん(高5回、野田市)が、昨年9月22日に心不全のため逝去された。享年74歳。東京銀座と地元野田市で弁護士として活躍された。野田支部長。

▼今春、全日制356人(9クラス)と定時制24人(1クラス)が卒業しましたので、本校の卒業生総数が32,864人となりました。内訳は、旧粕壁中学=4,458人、高校(全日制)=25,027人、定時制=3,379人。